

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

【奨励】「変化をもたらす神の力」

キリスト教暦ではクリスマス、イースターと共にペンテコステ(Pentecost、聖霊降臨日)という大切な記念日があります。ペンテコステとはギリシア語で「50番目」の意味で、イースターから50日後を表します。今年は5月24日(日)です。最初のペンテコステの日に弟子たちが一つになって集まっていると、「聖霊」(三位一体の神の霊、力、息吹など)に満たされて彼らに大きな変化をもたらしました。自分を守るために周りを恐れて、先生イエスを一人の少女の前に「知らない」と否認した臆病なペテロが、大勢の前に「イエスが救い主である」と、力強く証をしたのです。そして、ペテロの話聞いて、信じる人が集まり、礼拝し、交わり、食事し、祈ったことが教会の始まり、ペンテコステです。

聖書はペンテコステの出来事を通して、神は聖霊としていつも私たちと共におられ、勇気を与え、変化をもたらす力になっていると教えています。そして、「霊の
であり、喜び、親切、善意、誠制です」(ガラ23)と。皆が神り、何も恐れる「神を愛し、人を愛す」ことを変化(成長)をりある日々をように願い祈



結ぶ実は愛
平和、寛容、
実、柔和、節
テヤ5:22-
の力を知
ことなく、
を愛し、土
共に学び、
もたらす実
過ごせませ
ります。

《アジア学院の校舎に描かれていた収穫感謝祭のテーマとシンボル》

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。お待ちしております。

【次回の大学礼拝】2026年6月2日(火)10時40分

聖書：ヨハネによる福音書6章36-37節

奨励：「排除から共生へ——可変と不変」小林昭博(宗教主任)

讃美歌：第二篇192番、第二編157番

【前回の大学礼拝】2026年5月19日(火)

学生：330名 教職員ほか：10名 合計：340名

【大学礼拝週報】2026年度第6号(前学期第6号)

2026年5月26日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

ペンテコステ(聖霊降臨日)礼拝 《礼拝順序》

司式 小林昭博(宗教主任・循環農学類教授)
奏楽 佐藤理恵(日本基督教団野幌教会オルガニスト)
讃美指導 相原晴伴(農環境情報学類長・教授)

前奏 来ませ、聖霊よ、主なる神よ(ヴェンツェル作曲)
讃美歌 讃美歌21 475番(あめなる喜び)
聖書 使徒言行録2章37-42節
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「変化をもたらす神の力」 朴美愛(学園宗教主事)
祈り
讃美歌 讃美歌21 342番(神の霊よ、今くんだり)
報告
後奏 明るき太陽は今や輝きあらわる(ブロート作曲)

【本日の聖書】使徒言行録2章37-42節(新共同訳)

37 人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか?」と言った。38すると、ペテロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。39この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」40ペテロは、このほかにもいろいろ話をして、力強く証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と勧めていた。41ペテロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。42彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。